



### 市民の安心・安全を考えた情報発信

当市のクライシスマネジメントについて

議員

防災行政無線が運用開始されたが、市民の反応はどうか。

市民生活部長

朝の放送は、うるさいとの苦情が水海道地区で多く寄せられ、現在水海道地区では朝の試験放送を休止している。

議員

5月25日茨城南部を中心とする震度5の地震が起きたが、なぜ防災無線が流れなかったのか。

安全安心課長

放送基準が確立していなかったため放送できなかった。

議員

ゲリラ豪雨などに対しては、事前警告としての運用もぜひ考えてもらいたい。どのくらい聞こえるか全戸にアンテナを取るべきである。本当に聞こえないところに対しては戸別受信機の導入も考える必要がある。

市民生活部長

室内子局は費用負担の問題もあり検討する必要がある。

議員

地震が起こったら震度4でも、

金子 晃久 議員



私は流してもいいと思う。重要だと思ったら、市長自ら指示を出してやってもらいたい。

市長

周辺市町村も震度5弱で設定している。今のところは当市も5弱でやっていきたい。台風等については事前情報を流せると思うので、力を入れてやっていきたい。

議員

インフラを整えたからいいというわけではなく、それを運用する側の能力にかかわってくる。基準があったとしても、必要な情報は、ぜひ市長から伝えてもらいたい。今後暑い時期がやってくる。「熱中症対策に気をつけてください」と流すこともぜひ検討してもらいたい。



防災行政無線

無線室

□ 殿 園 圃 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 園 圃

### 今となっては、廃止が一番!!



都市計画税について



結論づけて言いたい。不均一だというならば、全部なくすのが自然だと思っている。

企画部長

検討を重ねている段階で、現時点ではまだ結論が出ていない。

議員

過去のことにとらわれるよりも思い切った発想、新しい発想が必要である。

市長

今年度できちんとした結論を出すため、今検討している。

議員

都市計画、線引きをやったことで、地域の発展がいびつになっている。人口を減少させた一因にもなっていると思う。ここだけ住宅建てて、ここは建てさせないという論理はやはりおかしい。国に対して言う必要もあるのではないか。市長の裁量で税額0.3%を今すぐ下げる気持ちはないか。

市長

今の段階でどんな結論を出すか答えることはできない。私は都市計画そのものは必要だと思いが、水海道地区にとって都市計画は発展を阻害しマイナスになっている部分もあるので、それは変えていきたいと思っている。

堀越 道男 議員

